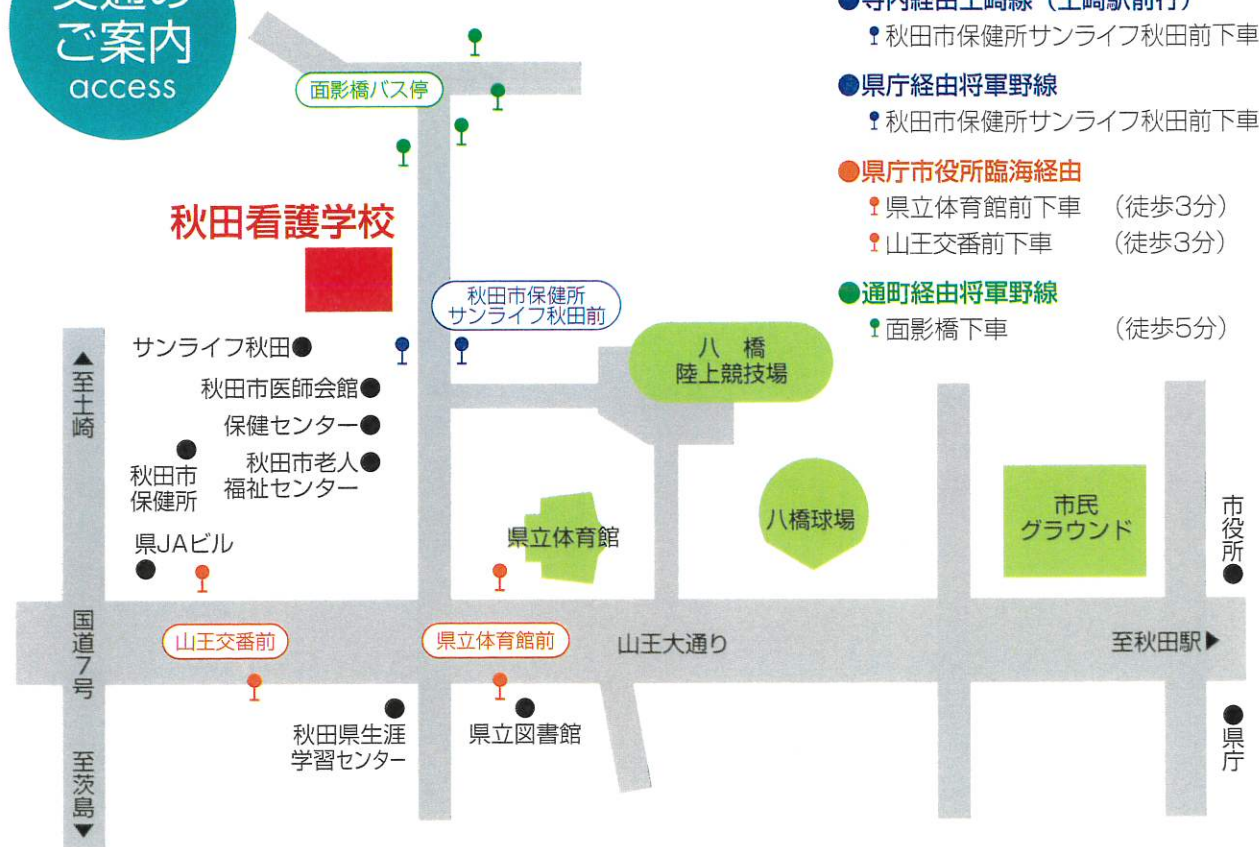


交通の
ご案内
access



当学校へバスをご利用の場合
(秋田中央交通・秋田駅前発)

- 寺内経由土崎線 (土崎駅前行)
秋田市保健所サンライフ秋田前下車
- 県庁経由将軍野線
秋田市保健所サンライフ秋田前下車
- 県庁市役所臨海経由
県立体育館前下車 (徒歩3分)
山王交番前下車 (徒歩3分)
- 通町経由将軍野線
面影橋下車 (徒歩5分)



秋田市医師会立

秋田看護学校

学校案内 School Information



秋田市医師会立
秋田看護学校

〒010-0976 秋田市八橋南一丁目8番11号
TEL.018-864-8804 FAX.018-864-8800

<https://akitakango.jp>
E-mail: kango@estate.ocn.ne.jp





秋田看護学校 学校長
湊 元 志
Minato Motoyuki

学校長挨拶

Message from The president

本校は昭和39年4月に秋田県医師会付属の准看護学院として開校しました。その後いくつかの変遷を経て、平成18年に3年課程の看護学校となり新しく秋田市医師会立秋田看護学校としてスタートを切りました。この間60年以上にわたり、多くの看護師、准看護師を輩出してきました。そしてその卒業生たちは、県内の多くの病院で活躍し、秋田県の医療に欠くことのできない重要な存在になっています。

本校は医師会立という名のとおり秋田市医師会の会員や市内の医療機関の全面的な協力を得て内容の充実した講義や実習を行っており、最近の看護大学、看護学部の乱立の中、それらに負けない本当に実力のある看護師を育成していくために努力しています。その結果として、毎年高い看護師国家試験の合格者を誇っています。

令和4年度より全面的にICT教育を取り入れ、生徒全員が個人のPCを所有し、教科書もデジタル化し効率的な学習ができる環境を整えています。また同じく令和4年度より新カリキュラムへと移行しより重要な項目を深く学べるようになりました。

充実した環境で、あこがれの看護師を目指し本校で学生生活を送ってはいかでしょうか。皆さんが楽しく充実した学生生活を送れるように、教職員一同最大限の支援と努力をいたします。

沿革

History

昭和39年4月	秋田県医師会付属准看護学院開校
昭和53年3月	秋田県医師会付属准看護学院閉校 設置主体が県医師会から市医師会に移管
昭和53年4月	秋田市医師会立秋田准看護学院開校
昭和54年4月	土手長町の旧校舎から八橋の新校舎に移転
昭和57年4月	秋田市医師会立秋田高等看護学院開校
平成17年4月	秋田市医師会立秋田准看護学院募集停止
平成18年3月	秋田市医師会立秋田准看護学院閉校
平成18年4月	秋田市医師会立秋田看護学校に名称変更 第1看護学科（3年課程・全日制）開設
平成21年3月	第2看護学科（2年課程・昼間定時制）廃止
平成21年4月	第1看護学科を看護学科に名称変更 医療専門課程、全日制（3年課程）として運営

入学者受入方針

Admission Policy

本校では次のような人を求めています。

1. 人が好きで、看護師になりたいという目的が明確な人
2. 基礎能力がある人
3. 誠実で協調性があり探究心がある人
4. 主体的に行動できる人
5. 危機感を持てる人

教育理念

Educational Philosophy

豊かな感性と知性を有し、生命と人格を尊重する思いやりに満ち、秋田県のみならず広い社会の保健・医療・福祉に貢献できる高い能力と行動力のある人を育成することを目指す。

教育目的

豊かな人間性と医療人としての精神を育成し、科学的に判断する能力を養い、看護師としての専門知識と技術を修得させ、専門職業人として地域社会の保健・医療・福祉に貢献できる看護師を育成する。

教育目標

1. 生命を尊重し、人格を思いやることのできる豊かな人間性を身につけることができる。
2. 生命の安全を保障するために必要な専門知識・技術・態度を基盤に看護を実践することができる。
3. 地域社会に関心を持ち、すべての保健・医療・福祉の分野に貢献できる。
4. 自主的かつ継続的に自己啓発できる。

高い能力と行動力のある看護師

地域社会における
保健・医療・福祉に貢献できる

生命と人格を尊重する
思いやり

豊かな感性と知性

定員

1 学年 40 名 / 120 名
(3 年課程・全日制)

卒業後の進路

就職率 100%です。秋田市内外の医院、中堅病院、総合病院などに就職しています。

卒業後の資格

- ・看護師国家試験受験資格が得られます。
- ・保健師・助産師学校の受験資格が得られます。
- ・専門士称号が得られます。
- ・看護大学の3年次への編入ができます。

教育課程

	教育内容	授業科目	単位
基礎分野	科学的思考の基礎	情報リテラシー	1
		生物学	1
		論理学	1
		教育学	1
		英語	1
	人間と生活社会の理解	人間関係論	1
		文学	1
		心理学	1
		カウンセリング	1
		社会学	1
		倫理学	1
		スポーツ科学	1
		家族関係論	1
		看護におけるホスピタリティ	1
	小 計		14
専門基礎分野	人体の構造と機能	からだの仕組みと働きI	1
		からだの仕組みと働きII	1
		からだの仕組みと働きIII	1
		形態機能学	1
		生化学	1
		栄養学	1
		微生物学	1
	疾病の成り立ちと回復の促進	病態学総論	1
		呼吸器の病態論	1
		循環器の病態論	1
		消化器の病態論	1
		腎・泌尿器の病態論	1
		内分泌・代謝・造血の病態論	1
		脳神経の病態論	1
		運動器の病態論	1
		生殖器の病態論	1
		小児の病態論	1
		精神の病態論	1
		薬理学	1
	健康支援と社会保険制度	健康科学	1
		公衆衛生学	1
		社会福祉	1
		チーム医療論	1
		関係法規I	1
		関係法規II	1
	小 計		25
専門分野	基礎看護学	看護学概論	1
		看護倫理	1
		看護研究概説	1
		フィジカルアセスメントI	1
		フィジカルアセスメントII	1
		基本的技術I	1
		基本的技術II	1
		基本的技術III	1
		看護過程	1
		日常生活の援助技術I	1
		日常生活の援助技術II	1
		診療の補助技術I	1

	教育内容	授業科目	単位
基礎看護学	基礎看護学	診療の補助技術II	1
		医療のカンファレンス	1
		基礎看護学実習I	1
		基礎看護学実習II	1
		基礎看護学実習III	2
	地域・在宅看護論	秋田を知る	1
		暮らしの理解	1
		地域・在宅看護概論	1
		暮らしと環境	1
		健康と暮らしを支える技術	1
		健康と暮らしを支える看護	1
		地域・在宅看護論実習	2
専門分野	成人・老年看護学	成人・老年期の生命の危機にある人の看護	1
		成人・老年期の生を支え再構築する看護	1
	成人看護学	成人看護学概論	1
		がんとともに生きる成人看護	1
		生きているための成人看護	1
		生きていくための成人看護	1
		成人看護技術	1
		成人・老年期の健康管理実習	1
		成人・老年期の周手術期実習	2
		成人期の慢性・終末期実習	2
	老年看護学	老年看護学概論	1
		健康障害をもつ高齢者の回復を促す看護	1
		高齢者のより健康な生活を支援する看護	1
		老年看護学実習I	2
		老年看護学実習II	2
	小児看護学	小児看護学概論	1
		健康障害をもつ子どもとその家族	1
		子どもの病気と看護	1
		子どものケア	1
	母性看護学	小児看護学実習	2
		母性看護学概論	1
		周産期ケア論	1
		母性看護技術	1
	精神看護学	周産期の健康逸脱と看護	1
		母性看護学実習	2
		精神看護学概論	1
		精神看護技術	1
	看護の統合と実践	精神の健康障害と看護	1
		精神障害者の日常生活援助	1
		精神看護学実習	2
		国際看護	1
	看護の統合と実践	災害看護	1
		看護マネジメント	1
		医療安全	1
		看護の統合	1
		看護の統合と実践	2
	小 計		66

109単位 3030時間

本校の特徴

- 秋田市中心部に位置し利便性抜群
- 電子教科書の導入
- 地域社会への関心を高める学習
- 経験豊かな多彩な講師陣
- 就職率100%

令和7年度 卒業生の進路状況

就職先

県内

- 秋田大学医学部附属病院
- 市立秋田総合病院
- 国立病院機構あきた病院
- 秋田県立リハビリテーション・精神医療センター
- 秋田県立医療療育センター
- 秋田赤十字病院
- 中通総合病院
- 今村病院
- 秋田緑ヶ丘病院
- 厚生連 秋田厚生医療センター

- 厚生連 大曲厚生医療センター
- 厚生連 能代厚生医療センター
- 厚生連 平鹿総合病院
- 市立角館総合病院
- 本荘第一病院
- 地域医療機能推進機構 秋田病院

県外

- 新松戸中央病院(千葉県)
- 聖隷三方原病院(静岡県)

主な臨地実習施設



● 秋田厚生医療センター



● 市立秋田総合病院



● 秋田緑ヶ丘病院



● 秋田回生会病院

4月

● 入学式

学校生活

● 交流会

5月

● 防災訓練

● フィールドワーク

● 就職合同説明会

● 基礎看護学実習Ⅰ

6月

● 領域実習開始

7月

● オープンキャンパス
(社会人)

● 地域・在宅看護論
実習

● オープンキャンパス
(高校生)

● 夏期休業

8月

● 基礎看護学実習Ⅲ

● オープンキャンパス
学校祭
(どなたでも)

9月



交流会



交流会



図書貸出し



入学式



就職合同説明会



フィールドワーク(秋田市民俗芸能伝承館で)



キッチンカー



電子教科書による授業



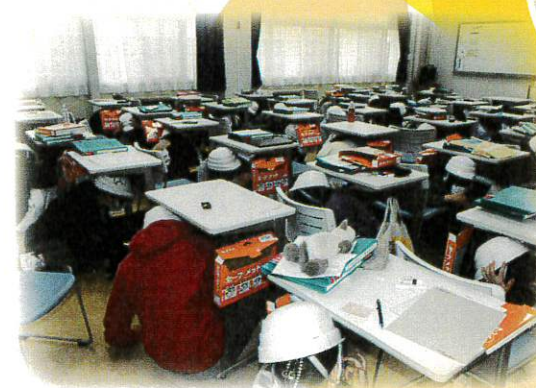
オープンキャンパス(高校生)



オープンキャンパス(高校生)



オープンキャンパス(社会人)



防災訓練(シェイクアウト)



学校祭

10月

● 大規模災害時対応訓練



フィジカルアセスメント

11月

● 領域実習終了

● 基礎看護学実習Ⅱ



母性看護学(沐浴練習)

12月



気管内挿管



点滴注射の演習



クリスマスツリーを設置



昼休みのパン・デザート販売

1月

● 卒業生からの
国試アドバイス

● 冬期休業



卒業生からの国試アドバイス(教室Ⅲで)



激励会



国家試験受験帰り「やり切りました!」



国試合格の報告で記念にパチリ

2月

● 激励会

● 看護師国家試験



卒業式



卒業記念にパチリ

3月

● 卒業式

在学生からのメッセージ

高橋 こころさん (1年次生)



この学校の受験を決めたのは、オープンキャンパスに参加した際に、学生と先生の距離が近く学びやすい印象を受けたことや、実習時間が多く演習などで実践的な学びができると思ったからです。実際に入学してからは、専門的な講義だけでなく学内研修・演習も多く、本格的な実習を前に段階を踏んで前に進んでいる実感が湧いています。

ひとりで学ぶのではなく、仲間とともに同じ目標に向かって学ぶことができ毎日が充実しています。これからは、本格的に看護の知識や技術、コミュニケーション能力も含めて患者さんに寄り添う姿勢をしっかりと身につけていきたいと思っています。

森山 楓太さん (1年次生)



私が看護師を目指すようになったのは、高校2年生の時に部活で怪我をして入院した際、親身になって相談にのってくれたり、日常生活の中でできないことを援助してくれたりした看護師のかたに、強い憧れと尊敬の念を持つようになったのがきっかけでした。

この学校は、医師会が運営し市内の医療機関と密接に連携しており、少人数だからこそ先生方からきめ細やかな指導を受けられる強みがあります。今はまだ勉強に四苦八苦していますが、これからは同級生達と高め合いながら日々頑張っていきたいと思っています。

佐良土 陽子さん (2年次生)



私はこの1年間、専門分野の知識を幅広く学ぶことができました。臨床医の方々からのリアルな話を聴く機会もあり、そうした授業はより深く理解したいという意欲にも繋がっています。実習では、患者さんに関わる中でコミュニケーションの大切さや個々に合わせた援助の必要性を学ぶことができ、習得した知識や技術を活かして実践力も身につけられました。

学校での日々は大変なことも多いですが、仲間とともに支え合い、刺激を受けながら学ぶことがやりがいや楽しさにも繋がっています。これからも少しずつ知識と技術を積み重ねながら、着実に成長していきたいです。

柴田 愛緒衣さん (2年次生)



この学校に入学してから、毎日がとても充実しています。授業では、外部講師の方々から臨床の話を聴くことができるほか、教科書には載っていないこと、看護への考え方やその楽しさを学ぶことができます。試験や実習では、クラスメイトと助け合い、また、先生方の経験を交えながらの指導で知識や技術を身につけることができました。

昨年は、担任の先生方の、厳しくも愛のある手厚い指導、支援のおかげでクラスは一丸となり、無事にみんなが進級することができました。2年次も互いに助け合って、勉強や実習など頑張りたいと思っています。

佐藤 楓華さん (3年次生)



私が高校生の時に祖父が入院したのですが、当時はコロナ禍だったということもあり、面会が制限され、不安と悲しみを抱えていた私に、看護師の方が優しく声をかけてくれました。この経験がきっかけとなり、私も患者さんとその家族を側で支えていけるような看護師になりたいと思いこの学校に入学しました。

入学してからは楽しいことばかりではなく、課題や実習で大変だと感じることも多いのですが、その分、自分自身の成長を実感できる毎日でもあります。このあと先生方のアドバイスを受けながら、友達と支え合って乗り越えていきたいと思っています。

成田 美咲さん (3年次生)



入学時は不安でしたが、日々学んでいくうちに「頑張りたい」という気持ちの方が大きくなりました。勉強や実習で大変なこともありますが、困ったときには直ぐに頼れる先生や仲間がいるため、前向きに取り組むことができています。また、現場に近い学びを通して、自分の目指す看護師像を具体的に思い描けるのも魅力の一つです。

少しずつできることが増えていく中で、自分自身の成長を実感できる毎日を送っています。温かい環境で楽しく学べるこの学校で、一緒に学んでみませんか？皆さんの入学をお待ちしています！！

卒業生からのメッセージ

岩谷 虎々真さん

秋田赤十字病院勤務 (令和7年度卒業)



看護学校の3年間は、実習や課題、試験、自身の就職先の決定など、頑張ること・考えることが多く、とにかく大変でした。しかし、同じ目標を目指す友人や相談にのってくれた先生の存在があったからこそ、辛い3年間を乗り越えられたと思います。また、学校生活は苦しいことだけではなく、友人達と過ごした時間の楽しい思い出もあります。

現在は、看護師として毎日先輩からたくさんのことを学んでいます。働いていると、学校で学んだことが役に立つことがあります。この学校で学んだこと・経験したことには、きっと無駄なことは一つもないと思います。1日1日を大切に、そして時々息抜きを入れながら頑張ってください。応援しています。

安田 陽菜さん

地域医療機能推進機構秋田病院勤務 (令和7年度卒業)



幼い頃から看護師という職業に憧れを持ち、現在は看護師として働いています。学生時代に学んだことや経験したことが、日々の看護につながっていると実感しています。患者さんとかかわる中で、看護に必要な知識や技術だけでなく人として大切なことを改めてこの学校で学べて良かったと思う場面がたくさんありました。

実習や国家試験勉強など、決して楽なことばかりではありませんでしたが、この学校には、同じ看護の道を志し一緒に頑張れる仲間や支えてくれる先生方がいます。仲間や先生方のおかげで何度も前を向き、自分を奮い立たせることができました。不安もあると思いますが、自分の夢に向かってぜひ挑戦してみてください。

加賀屋 侑林さん

本荘第一病院勤務 (令和7年度卒業)



私は地域に根ざした看護を学びたいと思い、この学校を選びました。入学後は、実習や講義を通して、知識だけでなく患者さんとの関わり方やチーム医療の大切さを学ぶことができました。また、先生方や現場の看護師さんから実際の経験談などを聞くことができ、学校だけでは学べない看護の現場についても深く知ることができました。その経験は、看護師として働くようになった今、本当に役立っていると痛感しています。

勉強が苦手な在学中は大変だと感じることもありましたが、友達にも恵まれて楽しく学校生活を送ることができました。先生方も親身に寄り添って支えてくれるお薦めの学校だと思います。

柴田 愛優菜さん

秋田県立医療療育センター勤務 (令和6年度卒業)



看護学校での3年間は実習や課題、試験など大変だと思う時がたくさんありました。しかし、クラス全員が同じ目標に向かって、実習や試験に取り組み、協力し合える環境だったからこそ頑張ることができました。

実習では、患者さんとの関わり方や援助など、わからないことがたくさんありましたが、同じグループメンバーや先生方のフォローにより工夫して関わっていくことができました。

現在は看護師として、毎日子どもたちや先輩から学ぶ日々です。指導のもと、少しずつできることが増えていることに喜びを感じています。看護学校での勉強は大変ですが、頑張ることで乗り越えることができます。応援しています。

山本 彩霞さん

土崎病院勤務 (令和6年度卒業)



看護学校での3年間は振り返ってみると実習や課題、試験、自分の将来について考えることが多く大変なこともたくさんありました。しかし、友人との関わりを通して息抜きができたり、家族、クラスメイト、先生方のサポートもあり頑張ることができました。現在、就職して、覚えることがたくさんあり、大変ですが、周りの先輩方のサポートがあり、また、学校の授業や実習で学んだことも活かしつつ、充実した日々を送ることができています。

国試の勉強や看護師になった後の勉強も大変な部分もありますが、自分にあった方法で息抜きしつつ頑張ってください。

佐藤 禅さん

秋田大学医学部附属病院勤務 (令和5年度卒業)



秋田看護学校での3年間はテストや実習など大変なことも多いですが、同じ目標を持った仲間や先生方のアドバイスのおかげで乗り越えることができたと感じています。特に実習は患者さんとの関わり方や援助など不安もありましたが、先生方が手厚くフォローしてくださり、落ち着いて患者さんに関わることができました。

実習や患者さんとの関わりを通して、人間的に成長することができたと感じています。皆さんもこの学校に入学して看護師を目指してみませんか。